
みなさん、こんにちは。男女共同参画WGです。長かった梅雨も明けて本格的な夏がやってきました。ただ例年と比べると、朝晩など少ししのぎやすい気もしますが、どうぞみなさんお身体をお大切に。

育児休業取得に関する助成金を、島大はうけられることがわかりました！！

育休をとると大学がもうかる・・・なんとそんなうまい話があるんですね。「育児休業を取得し、育児休業期間中の仕事については代替職員を雇用してもらい、そして原職に復帰した」という人を出した事業主、つまり大学は助成金をうけることができるのです。

一体いくらもらえるかという、対象となる育休取得者が原職復帰された場合、1人目が40万円、その後は一人につき10万円です。(1年度10人が上限)

助成金を交付してくれるのは「財団法人21世紀職業財団」。ここはいろいろな助成金制度を設けて、家庭と仕事の両立や女性の能力発揮促進を支援しており、島大ではそのうち上記の「代替要員確保コース」という助成金を申請する方向に進めることになりました。

もちろん助成金の交付をうけるにあたっては、色々満たさないといけない条件があり、育休をとって原職復帰した人すべてが当てはまるものではありませんが、この制度について、詳しくはこちらをクリック！



http://www.jiwe.or.jp/gyomu/support/assist1_3.html

というわけで、出産を控えているみなさん、育休をとって大学をもうけさせてあげましょう！これも立派な「外部資金の獲得」です。

学童保育設置検討WGをたちあげます。加わってくださるかた、大募集！！

男女共同参画推進WGでは、大学内あるいは附属小学校内に学童保育の設置が可能かどうか検討するWGを発足させることになりました。これはこのメルマガに「学内に学童保育を作って欲しい！」という強い要望が寄せられたことをうけてのものです。ただ、学童保育をつくるとなると、設置者はもちろん大学ですが、運営は父母の皆さんに担っていただく必要がありますので、実際にお子さんを預けようとする方の熱意と実行力がなければどうにもなりません。「大学内に学童保育を是非作ってほしい」「学内に学童保育ができたら是非うちの子を預けたい」「それにあたっては運営を担ってもよい」とお考えのかた、いらっしゃいませんか。いらっしゃいましたら

Kyodo-sankaku@jn.shimane-u.ac.jp

まで、ぜひぜひご連絡ください。一緒に、「学内に学童保育が作れるかどうか」「どんな学童保育が作れるか」を検討していきたいと思います。

「こどもの看護のための特別休暇」ってご存じですか？

こどものうちはよく病気にかかるものですよね。保育園からの「〇〇ちゃんがお熱を出してしまったのですぐお迎えにきてください」という呼び出しの電話にお

びえて？いるかた、自分の年休はこどもの病気で消えてしまっているという方も多いのでは。さて「こどもの看護のための特別休暇」ってご存じですか？5日間までは小学校就学前の子どもの看護のために有給（非常勤職員のかたは無給）でお休みすることができます。ぜひご活用ください。なおこの休暇の制度については、<http://www.shimane-u.ac.jp/web/plan/plan.html>

「産休（産前・産後）等の特別休暇について」の項にも書いてあります。どうぞご参照ください。

「子育てを語る会」を開催しました

7月6日(金)と7月19日(木)に「子育てを語る会」を開催しました。参加者は6日が6名、19日が10名でした。開会挨拶に続いて、
○「お子さんが生まれる前と後(妊娠期間中も含む)での生活の変化」
○「仕事と子育てを両立させるにあたって、工夫していることや困っていること」
○「仕事と子育てを両立させるにあたって、大学に望みたい支援・補助」をテーマにKJ法によるブレインストーミングをおこなった後、グループに分かれて討議を行い、意見交換や質疑応答をしました。
同世代の子供を育てているということから、共通の悩みや楽しみについての話題がはずみ、和気あいあいとした雰囲気の中であつという間に会が終了しました。

この会での意見交換から「学内子育てネットワークの構築」「子育て支援制度の周知方法の改善」「乳幼児時の予防接種を職務専念義務免除に適用」など、両立支援策の提言がうまれました。今後はこれらについて具体化する作業に入りたいと思います。

第1回「ジェンダーの科学（仮）」教育プログラム開発研究会を開催しました

7月6日12時より、第1回「ジェンダーの科学（仮）」教育プログラム開発研究会を開催しました。今回は賛同者12名のうち7名が集まり、どのような授業内容が可能かなどについて話し合いました。「“霊長類はメスが子育てしている”というのは本当か?」「Y染色体はろくに働いていない」「いやらしい裸体”と“芸術的な裸体”とはどこが違うのか」「住居“という”入れもの“から家族を考えてみよう」など、闊達な話題がとびかい、刺激的な面白い授業になりそうな予感でいっぱいの中に散会しました。
次回研究会は9月28日(金)午後を予定しています。この日は各自の講義案をもちよることにしています。関心をお持ちの方のご参加を歓迎しています。

このメールマガジンについてのご意見・ご質問等は

Kyodo-sankaku@jn.shimane-u.ac.jp

まで お願いいたします。

★ お願い ★

このメールマガジンは、島根大学の構成員全員にお伝えしたい内容を掲載しております。allstaff宛のアドレスにお送りしていますが、学部によっては講座の代表者のかたにしか届かない設定がされているところがあるようです。

そのような設定の講座等におかれましては、代表のかたが講座内のスタッフ全員に転送・配信下さいますようお願いいたします。

また、PC環境にないスタッフがおられる講座等では、たいへんお手数ですが、プリントアウトして回覧していただければ幸いです。